

令和7（2025）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修④ 実施報告

実施日：令和7年7月10日（木）

本研修では、新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務を遂行する上で必要となる社会教育行政に関する基礎的知識や学習プログラムの企画・立案の技術等を学びます。第4回は総合教育センターに集合し、28名の方が受講されました。

○説明「受講者の学習効果を高め、変容を促すプログラムとは」 総合教育センター職員

学習プログラム開発における基本的な理論と手法について説明がありました。今後の業務の中で、実際に学習プログラムを立案する場面を想定し、諸計画と学習プログラムの関係性、構成要素、さらにはPDCAサイクルの意義についても確認しました。特に、社会教育行政職員として、「学び」で終わることなく、学習者の意識や行動の「変容」を想像し、それを促進する体系的な学習プログラムの立案がいかに重要であるかを再確認しました。



○演習「学習プログラムを企画しよう」

総合教育センター職員

受講者は説明内容を基に、例示された連続講座の学習プログラム（個別事業計画）の改善に取り組みました。点検シートを活用し学習内容を要点ごとに見直すことで、学習目的を達成するための活動構成やストーリー性（系統性）の確認を行いました。その後、グループでの意見交換を通じて、多様な視点から講座を再検討し、より効果的な個別事業計画を設計しました。次にグループで協働して、連続講座の中から一日を選択し、詳細な実施計画を作成しました。最後には、各グループが作成した学習プログラムについて付箋を用いて相互評価をし、活動内容を共有しました。学びを分かち合う交流が、より充実した学習体験を生み出しました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・計画を立案する体験学習ができてよかったです。グループ内で意見を出す中でいろいろなアイデアが出ました。自分で持っていない視点があるので、計画を作るときは、一人で悩まず人に相談することも大切だと思いました。今後の計画立案する時の参考になりました。
- ・受講した内容をすぐに実践する場があったことは非常に良かったです。自分では考えつかなかった意見や発想を共有でき、自身の糧になりました。
- ・事業計画を立てるのがこんなにも楽しいとは思いませんでした。ぜひ現場でもできたらいいと思います。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp